

# 黒い爪あと

1. 赤い肌

豊丘村豊丘中学校三年

N・S

ゴ―ゴ―  
地獄の底からの 悪魔の勝利の音が  
私の胸に聞こえる  
人間をあざ笑っているようなあの声  
きのうまでの  
静かだ、澄みきつた、ゆるく流れまいた天竜川が、  
悪魔の声と一変した。  
巨大な何かにもうあざはれているような  
この世界

あの何かは、  
 人間の心を、苦しみを、よろこびを、  
 人間の若さを、  
 どしどし静かな平和を  
 ある人々から ひったくって行った  
 一生がかかって作りあげてきたものも  
 あの黄色い濁流と変った  
 父母をさえ 幼い子どもから取り去って行った

ああ

横暴にふるまうあれを  
 私たちは見ているだけだ  
 大きな苦しみをぶつけて行った何ものかを  
 せめることも、やっつけることも  
 ひっぱたいてやることもできなかったのだ  
 どしま  
 悪魔はさつどうと通りすぎた行った  
 あとに残ったものは  
 豪雨の中ぐもまれきった人間と  
 命を失ったように痕水きった人間と

荒されたこの地上だけだった

私は 何という被害は受けなかった

私は じぶんの幸運をたいへん喜んだ

だけ

ひとり ひとり残され行く人間のような気がする

嵐にひっかきまわされた人たちが

うちのめされた人たちが

もう一度生き返ったとき

私は 一歩も二歩も十歩も 遅れた人間だかもしれない

もう一度 嵐の夜明けを見た

茶色に濁った水は

青田を消し去った

だけ

緑の山に

ひっかいた爪あとのような

赤い肌ができわたった